

消防団員インタビュー



田村 裕一さん
(団長・入団30年目)

消防団員として長く続けてこられた秘訣はなんですか？

災害現場の活動や訓練で使命感が生まれたのはもちろんですが、郷土愛を持った先輩団員とご家族、地域の方々と知り合えたことで自分自身の郷土愛も強くなりました。

これまでの経験で、嬉しかったことや大変だったことはありますか？

27歳の時、消火技術を競う東京都消防操法大会で優勝

した姿を、当時お付き合いしていた現在の妻に見せることができたのは良い思い出です。

訓練と仕事、私生活との両立に苦労しましたが、大人になって利害関係のない仲間と何かを成し遂げる機会はとても貴重でした。

消防団に関心のある方へのメッセージをお願いします

職種を問わず、さまざまな立場でも消防団活動は可能です。私自身も、入団したのは仕事を覚え始めたばかりの19歳でした。

地域を守る活動を一緒にしてみませんか？

消防団の魅力を教えてください

消防団に入団したことでできた地域の人のつながりや、消防団の活動を通して得た貴重な経験は、自分自身の成長にもつながっていると感じています。

分団での訓練のようすや雰囲気をお願いします

消防署の訓練所を借りて、水防訓練や実際に水を使った消火訓練を消防署員の方からご指導いただき訓練しています。また、近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。消火活動だけでなく、大規模災害を想定した、救助訓練や地域の自主防災組織、住民と連携した訓練も行っています。

私は2分団に所属していますが、とてもアットホームな分団です。優しい先輩、楽しい同期、頼もしい後輩がいる2分団は私にとって家族のような存在です。

仕事や家庭と消防団の活動は両立できますか？

私は普段、会社員として都心に通勤しています。活動にやむを得ず参加できない場合は、他の団員の方がフォローしてくれますので、両立ができないと思うことはありません。入団した時に、決して無理はしなくて良い、できる範囲で頑張ってくれば良い、と当時の分団長から言われました。今まで消防団を続けてこられたのは、家族の理解や協力があつたのはもちろんですが、同様に団の仲間の協力があつたからこそと感謝しています。



瀧澤 太さん
(第二分団班長・入団8年目)

学生で消防団員になったきっかけはなんですか？

高校生のころに、地元の方から消防団の活動を紹介してもらったことがきっかけです。地域防災の役に立てるならば挑戦したいと思い、大学進学と同時に消防団員になりました。

入団してよかったことはなんですか？

地元である小金井に愛着が湧くとともに、地元の方と一緒に活動でき、とても良い経験になっています。

班長となった今期では、後輩に放水訓練の指導をしたり、消防車の運用を任せられたりして、自身の成長を感じます。

また、訓練で上級救命講習を受けた経験から、電車内の具合の悪い方に自然と声をかけられたときは、人の役に

に立てたかなと思いましたね。

学生・若者へのメッセージをお願いします

消防団活動は、火災や震災、風水害などから人々の命を守る、とてもやりがいのある活動です。そのため、日ごろの訓練も自然と力が入ります。この訓練の多くは夜の時間にあるので、大学が終わった後でも参加でき、学業との両立も可能です。

また、学生消防団活動認証制度も整備されています。この制度を利用することで、就職の際などには、学生として消防団活動に励んでいたことを積極的にアピールすることができます。

小金井市消防団では団員を募集中です。ぜひ一緒に、あなたの若い力を消防団活動に生かしてみませんか？

入団に関心のある方は、見学ができます。
詳細は、地域安全課防災消防係へお問い合わせください。



総合防災訓練



秋の火災予防運動



歳末特別警戒



出初式